

学校 教育 目標	「さわやか笑顔 中田っ子」～思い合い ひびきあい 共に生きる力を育てます～ (知) 自ら課題を見つけ、考え、協働して解決しようとする子を育てます (徳) 自分のよさを発揮し、他者を思いやり、夢の実現に向かって挑戦し続ける子を育てます (体) 基本的な生活習慣を身に付け、自他の命を大切にすることを育てます (公) 進んで人とかわり、つながりをもち、地域社会に貢献する子を育てます (開) 自分を見つめ、多様性を尊重し、共に生きる子を育てます				
学校 概要	創立 76 周年	学校長 荒井 智津子	副校長 正木 俊行	2 学期制	一般学級: 22 個別支援学級: 7
	児童生徒数: 701 人	主な関係校: 中田中学校 東中田小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「自分づくりに関する力」 「コミュニケーション力」	中田中学校 中田小学校 東中田小学校	自分で考え、判断する力を育てます。自分も他者も大切三する心を育てます。中田のまちの良さを愛する心を育てます。 ・小中合同授業研究会を通して、指導の連続性を図る。 ・誰もが主体的に学習できるよう、体験的学びとICTの効果的活用の充実を図る。 ・既存の児童生徒交流の場を生かし、3校の交流を促進する。 ・ブロック内専任会を柱に、児童生徒指導についての定期的な情報共有を密に行う。

中期 取組 目標	<めざす子どもの姿> ○「ひと・もの・こと」に夢中でかわり、対話的に学び、自分の見方・考え方を深める子(学力) ○進んであいさつをし、自分も相手も大切にできる子(豊かな心) ○食生活の大切さを理解し、運動に親しみながら心身の健康をめざす子(健やかな体) ○情報や端末を扱うときのルールがわかり、それを守って活用することができる子(情報活用) ○中田のまちを愛し、地域のために自分のよさを発揮できる子(地域連携)
----------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	学力向上	重点研究主題を「思いや願いの実現に向けて、『ひと・もの・こと』に夢中でかわり、対話的に学ぶことを通して、自分の見方・考え方を深める子の育成」とし、生活科、総合的な学習の時間を中心に、主体性の育成や対話を通して学びを深める力の育成を目指す。また、子どもが自らの学びの過程を振り返り、変容や成長を自覚できるようにするとともに、その成果を保護者や地域にも伝えていくことで、学びの価値を共有できるようにする。
担当	学力向上部会	
徳	豊かな心	①教育活動全体を通じた道徳教育と人権月間を核とした学年ごと学級ごとの人権教育の推進。互いを思いやる気持ちを育成する活動の1つとして、あいさつの励行をしたり、ペア活動の充実を図っていったりする。②「自分づくりパスポート」を活用し、自分で立てた目標を毎月振り返ることで、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。
担当	豊かな心の育成部会	
体	健康教育	①学校生活全般での活動を通じて、子ども一人ひとりが主体的に健康な生活や、食事面も含めた規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培う。家庭と連携し、運動、食育教育に力を入れる。②各委員会など子ども主体で計画された集会や給食週間など、楽しく体を動かす機会や食について考える場を設定し、日常的に取り組む態度を養う。
担当	健やかな体の育成部会	
公開	地域連携	①地域学校協働本部と連携して、校内での学習補助や校外での生活科、総合的な学習の時間等における地域との関わり方を整理し学びの充実を実現していく。②地域の方に支えられていることを伝え、日々お世話になっている人に積極的にあいさつをするよう促していく。
担当	地域学校協働本部	
いじめへの対応		①毎月1回、「いじめ防止対策委員会」を実施する。いじめの現状確認や再発防止、未然防止策を立て、全職員の共通理解のもと取り組んでいく。また、認知された案件の経過観察を丁寧に行い、安心して学校生活が送れるよう努める。②全職員で児童の共通理解をし、指導にあたる。職員会議や打ち合わせ等での児童理解の時間を充実させる。③横浜こども会議の話し合いの場を年間計画に位置づけ、子ども自身がいじめの未然防止について考える場を設定する。
担当	豊かな心の育成部会	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①月に1回程度、教務会、4部会及び議事運営委員会を行い、ミドルリーダー等が全体を見通して学校運営していく場を設定する。②3か月に1回程度ブロック会を開催しブロック内で情報共有する機会を設ける。③①②により学校経営に関する共通理解を深め、人材育成と組織運営を一体的に進めるとともに、業務の効率化と役割分担の明確化を図り、教職員が安心して教育に専念できる働き方改革を推進する。
担当	教務部・メンターチーム	
情報活用能力育成		①子どもが端末やアカウント・パスワードの扱い方や特性を理解し、適切に扱って学習に取り組めるように、子どもの考えを活かした授業づくりに取り組む。②情報モラル研修会を計画し、家庭との連携をしながら子どもの情報リテラシーの育成に重点的に取り組む。③ICT通信を発行し、活用状況を発信する。④校務のデジタル化を進め、働き方改革の推進に寄与していく。
担当	情報活用能力育成部会	
特別支援教育		①一人ひとりの児童に寄り添い、心の居場所となる学級づくりを目指す。職員間で児童の情報を共有し、ユニバーサルデザインを取り入れた授業を行う。また、特別支援教育相談を年3回実施し、保護者と共通理解のもと支援を行う。特別支援教育における環境整備を行い、特別支援教室の充実を図る。②ケース会議を行い、個別的教育支援計画、指導計画の活用を充実させ、子どもの思いに寄り添いながら取り組む。
担当	豊かな心の育成部会	
児童支援		①日々の児童の見取りを行いながら、「Y-P」や「安心して生活するためのアンケート」の結果を関係職員で共有し、適切な指導に努める。また、子どもの言葉を大切に、教育相談を実施し、一人ひとりに寄り添いながら支援をしていく。②複数指導体制の工夫と日常化を図り、全職員で一人ひとりの子どもを支援していく。③不登校児童の思いに寄り添い、適切な支援のあり方を保護者と相談しながら進めていく。④ルール・マナーブックをもとに、共通した指導を行う。内容の検証を行い、児童・保護者が安心できる環境づくりに努める。
担当	豊かな心の育成部会	
0		b10
担当	0	